

科目区分	教養科目	授業科目名	長崎観光入門				科目コード	25L004	担当者	松島 完		担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 地域未来創生コース	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	2	必修・選択の別	必修	免許・資格要件			
授業形態	講義	履修条件						教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分				
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連							科目に含めることが必要な事項				

授業の主題	日本の都市で他と異質な歴史と文化を有する長崎市に所在する短期大学に学ぶ者として、また、卒業後に観光長崎で勤務する社会人として、必要な素養を身に付ける。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	提出された成果物やレポートは評価の対象となります。
授業の方法	講義形式を基本にしながらも、学外での活動(フィールドワーク)も行います。なお、学習の成果として、自ら設定したテーマで長崎の観光に関連した報告書を提出してもらいます。	アクティブ・ラーニングの実施方法	①「長崎さるく体験」は学外でのフィールドワークとする。 ②「長崎さるく体験事前学習」、「長崎ゆかりのひと・もの・こと物」、「長崎の観光スポット研究」では、各自がテーマを決め、独自にまとめる作業とする。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	オリエンテーション、長崎の歴史	長崎の歴史に関して学習した内容をレポートにまとめる	第9回	観光まちづくり～まちなか再生をテーマとして～(グループワーク)(ゲストスピーカー:長崎市まちなか再生担当平山広孝技師(長崎都市景観研究所所長))	グループワークを受け、理想とするまちづくりについてレポートにまとめる
第2回	長崎の文化①	長崎の文化に関して学習した内容をレポートにまとめる	第10回	長崎の文化②	第1回目の長崎の文化の講義について復習しておく
第3回	長崎に関わる世界遺産とその背景①(概論、明治日本の産業革命遺産)(ゲストスピーカー:NPO法人軍艦島を世界遺産にする会坂本道徳理事長を検討)	事前に配布する資料で学習しておく	第11回	長崎ゆかりのひと・もの・こと①	取り上げた「長崎ゆかりのひと・もの・こと」について調べ、まとめる
第4回	長崎に関わる世界遺産とその背景②(長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産)(ゲストスピーカー未定)	事前に配布する資料で学習しておく。また、第3回第4回を踏まえてレポートにまとめる	第12回	長崎ゆかりのひと・もの・こと②	取り上げた「長崎ゆかりのひと・もの・こと」について調べ、まとめる
第5回	長崎の食文化(栄養士コース古賀先生)(予定)	講義を受け、長崎の食文化の特徴についてレポートにまとめる	第13回	長崎の今とこれから(ゲストスピーカー:未定)	講義を受け、長崎観光の課題についてレポートにまとめる
第6回	長崎さるく事前学習(外部講師:NPO法人長崎コンプラドール桐野耕一会長・田中潤介事務局長)	長崎さるく体験のコースの中で特徴的な史跡、建物、人物等について事前に調べ、まとめる。	第14回	観光業の現状(ゲストスピーカー:稲佐山観光ホテル社長)	観光業の現状について下調べしておく
第7回	長崎さるく体験①(外部講師:同上)	長崎さるく体験の感想及びまちづくりへの提言をレポートにまとめる	第15回	長崎の観光スポット研究②(長崎女子短期大学を探索してまとめる)	研究成果を成果物として提出する
第8回	長崎さるく体験②(外部講師:同上)	長崎さるく体験の感想及びまちづくりへの提言をレポートにまとめる			事前・事後学修時間(分/授業1回) 180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	なし	受講生へのメッセージ	この授業は、地域の「まちづくり」の旗手を育てること、観光長崎の第一線で活躍できる担い手を育てることを究極の願いとしています。そのためには、日頃から長崎の歴史、文化等への関心を持つとともに、授業の主題をよく理解して授業に臨んでください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	わかる!和華蘭/長崎市史編さん委員会/長崎新聞社		

